

**Blackstar**<sup>®</sup>  
AMPLIFICATION



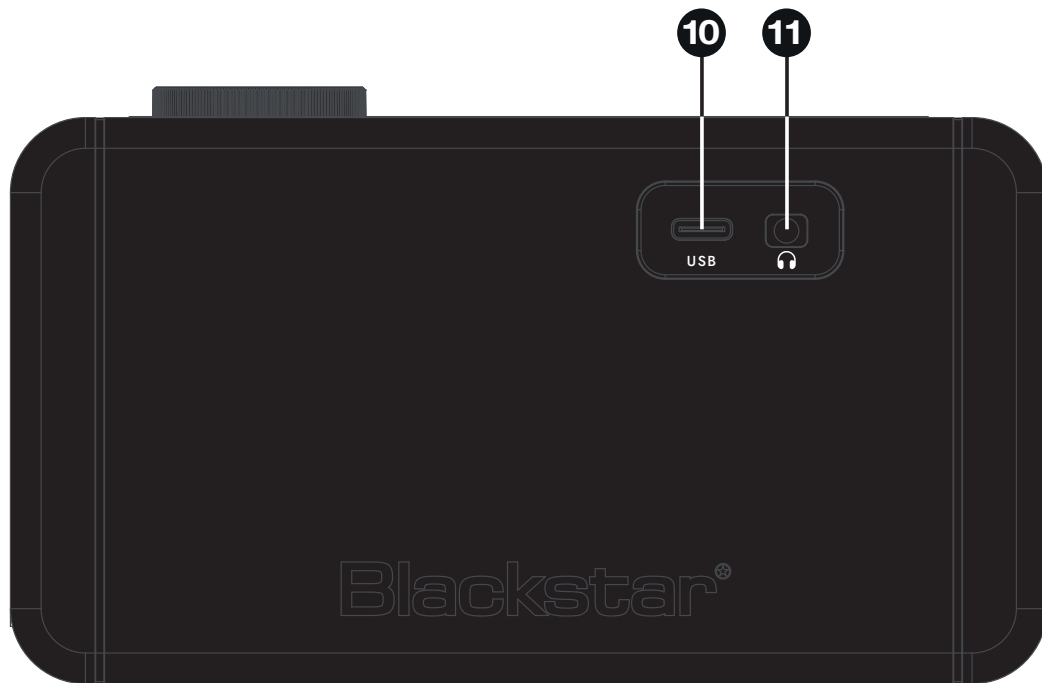
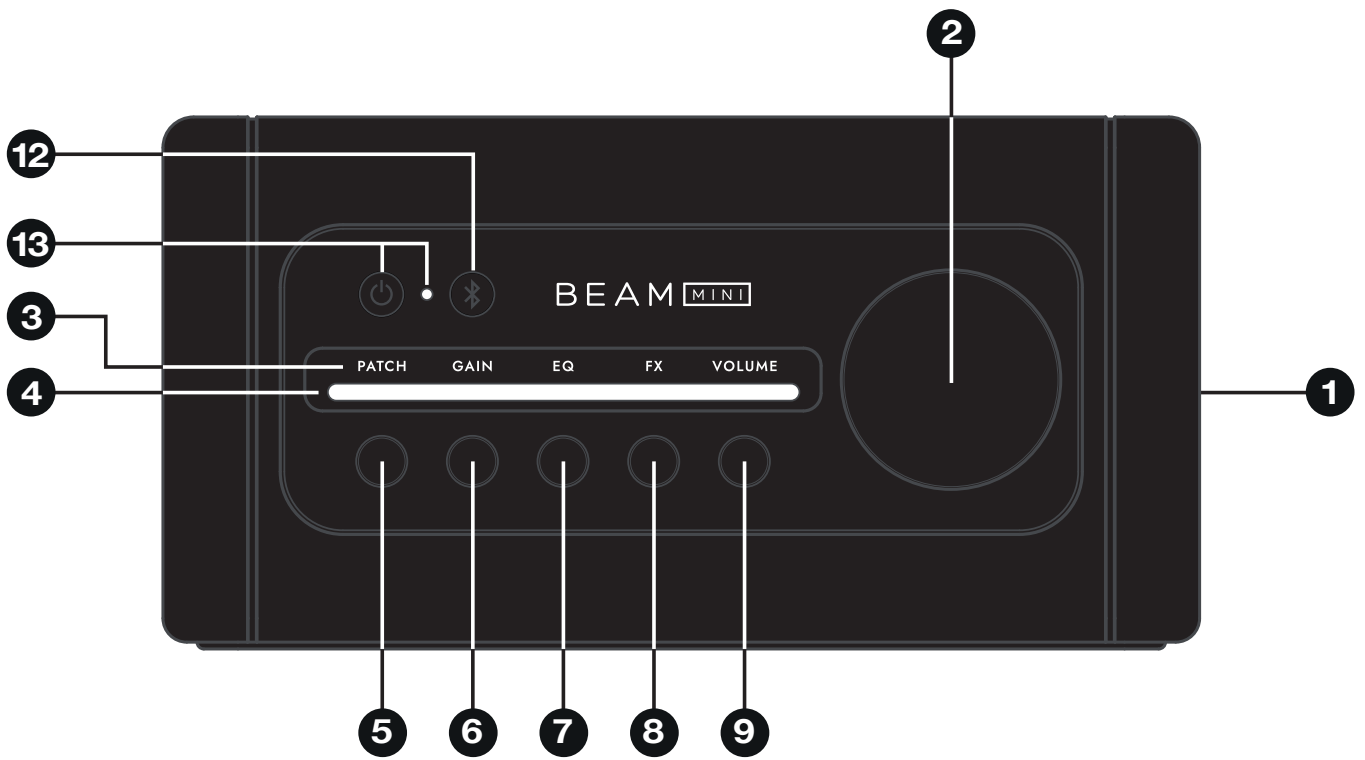
# BEAM MINI

**取扱説明書**

the sound in your head

Designed and Engineered by  
Blackstar Amplification UK 

# BEAM MINI 回路図



## Contents

<b>Beam Mini 図解</b>	<b>2</b>	<b>電源スイッチとLED表示</b>	<b>13</b>
<b>重要な安全上の注意</b>	<b>4</b>	<b>バッテリー</b>	<b>13</b>
<b>警告</b>	<b>5</b>	<b>LED表示</b>	<b>14</b>
<b>はじめに</b>	<b>7</b>	<b>Beamモバイルアプリ</b>	<b>14</b>
<b>機能</b>	<b>8</b>	<b>技術仕様</b>	<b>15</b>
<b>工場出荷時設定へのリセット</b>	<b>9</b>	<b>お手入れ</b>	<b>15</b>
<b>ファームウェアの更新</b>	<b>9</b>		
<b>Bluetooth接続</b>	<b>9</b>		
Beamアプリへの接続	9		
オーディオストリーミングのペアリング	9		
Bluetoothのトラブルシューティング	10		
<b>操作と機能</b>	<b>10</b>		
スピードダイヤル	10		
照明付きディスプレイ	10		
光ビーム	10		
<b>Control Buttons</b>	<b>10</b>		
パッチ	10		
ゲイン	11		
EQ	11		
エフェクト / タップテンポ	11		
音量	11		
USB-C接続	12		
<b>オーディオインターフェース</b>	<b>12</b>		
外部デバイスへのUSB出力	12		
外部デバイスからのUSB入力	12		
<b>3.5mm ヘッドフォン出力 / ライン出力</b>	<b>12</b>		
<b>ヘッドセット</b>	<b>13</b>		
<b>Bluetoothオーディオボタン</b>	<b>13</b>		

## 重要な安全上の注意

1. この説明書をお読みください。
2. この説明書は大切に保管してください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 水に浸さないでください。
6. バッテリーを取り外したり、交換したりしないでください。
7. 製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、その他の発熱装置(アンプなど)などの熱源の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり、挟まれたりしないように保護してください。特に、プラグ、コンセント、および機器からの引き出し口付近は注意してください。
10. メーカーが指定した付属品/アクセサリーのみを使用してください。
11. 雷雨の際や、長期間使用しない場合は、本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。
12. 修理は必ず資格を持つサービス担当者に依頼してください。本装置に何らかの損傷が生じた場合は、修理が必要です。

## 警告!

### 重要な安全情報!

以下の情報をよくお読みください。

将来参照できるよう、すべての説明書を保管しておいてください。

**製品に記載されているすべての警告および指示に従ってください!**

本機の筐体を開けないでください。本機にはユーザーが修理できる部品は含まれていません。取扱説明書に従っても正常に動作しない場合は、資格を持つサービス技術者にご依頼ください。

直射日光を避けてください。

アンプを低温の環境から暖かい場所へ移動させると、内部に結露が生じる場合があります。電源を入れる前に、本体を室温に戻しておくことをお勧めします。

Blackstar Amplification Ltd.は、本機器への無断改造を固く禁じています。

本製品は、ストーブ、ラジエーター、その他の発熱装置などの熱源の近くに置かないでください。

お住まいの地域の電源電圧に対応した電源アダプターのみを使用してください。電源コードは常に慎重に取り扱い、損傷が見られる場合は交換してください。

付属の電源アダプターの接地ピンを絶対に折らないでください。

12時間以上連続して充電し続けしないでください。本機を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

音量が大きすぎると、聴覚に永続的な損傷を与えるおそれがあります。したがって、以下に定める基準値を超える音量にさらされる場合は、永続的な難聴を防ぐため、過度な音量設定や長時間の使用を避ける必要があります。

日あたりの使用時間(時間)	音圧レベル dBA(スロー特性)
8	90
6	92
4	95
3	97
2	100
1½	102
1	105
½	110
¼ or less	115

OSHAによると、上記の許容限度を超える曝露は、何らかの聴力損失を引き起こす可能性があります。



すべての電気・電子製品は、政府または地方自治体によって指定された回収施設を通じて、一般廃棄物とは別に処分する必要があります。



## はじめに

このBlackstar Beam Miniポータブル・デスクトップ・ギター・アンプをご購入いただき、誠にありがとうございます。当社のすべての製品と同様に、このデスクトップ・アンプも、世界トップクラス的设计チームによる数え切れないほどの時間をかけた綿密な研究開発の結晶です。英国ノーサンプトンを拠点とするBlackstarのチームメンバーは、全員が経験豊富なミュージシャンであり、開発プロセスの唯一の目的は、ギタリストの皆様にご自己表現のための究極のツールとなる製品を提供することにあります。

すべてのBlackstar製品は、信頼性、品質、そして何よりも「音の質(トーン)」において一切の妥協がないことを保証するため、徹底的な実験室および実地テストを経ております。

Beam Miniは、ポータブル・デスクトップ・アンプの概念を一新し、コンパクトで直感的なデザインの中に、エレキギター、ベース、アコースティックギターのための没入感あふれるプロレベルのサウンドを実現しています。

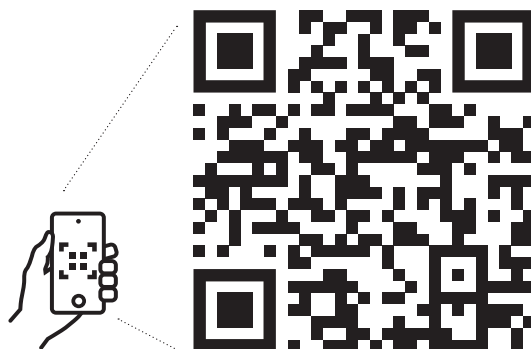
この取扱説明書をよくお読みいただき、新しいBlackstar製品を最大限にご活用ください。

このサウンドにご満足いただけましたら、Blackstarの製品ラインナップについてさらに詳しく知りたい方は、弊社ウェブサイト [www.blackstaramps.com](http://www.blackstaramps.com) をご覧ください。

ありがとうございます！

Blackstarチーム

、始めよう...



<https://www.blackstaramps.com/beam-mini/go>

## 特徴

Beam Miniアンプへようこそ。Beam Miniは、高品質なアンプ・モデリング、スタジオ級のエフェクト、そして没入感あふれるCabRig™ IRベースのスピーカー・シミュレーションを組み合わせた、パワフルでポータブルなギター・ソリューションです。これらすべての設定は、Beamモバイルアプリから編集可能です。自宅で静かに練習するときも、外出先でジャムセッションを楽しむときも、ダイレクト録音を行うときも、Beam Miniはコンパクトで使いやすいボディから、迫力あるサウンドをお届けします。

Beam Miniは、本物のプレイヤーを念頭に置いて設計されました。直感的なハードウェア操作で素早く調整でき、ユーザーと共に成長するモバイルアプリ、そしてあらゆるセッションを刺激的な体験に変える機能を備えています。これほどまでに特別なデスクトップアンプは他にありません。

Beam Miniのアンプとエフェクト・ペダルは、部品一つひとつ、セクションごとに綿密な設計、テスト、最適化を重ねて生まれた製品です。数十年にわたる研究開発の成果を基に、高く評価されている真空管アンプやエフェクトの感触、レスポンス、音楽性を、比類なき精度で再現しています。

独自の「SpeedDial」と「Light Beam」ディスプレイにより、アプリを使わずに素早くサウンドを微調整できます。インスピレーションが湧いた時や、時間が限られている時に最適です。トップパネルから「XpressFX」スマートトラックリングコントロールを使用すれば、複数のエフェクトパラメーターを同時に調整可能です。さらに詳細な設定を行いたい場合は、iOSおよびAndroid用のモバイルアプリ「Beam」にシームレスに切り替えて、多彩な機能をお楽しみください。

CabRig™のIRベースのキャビネットシミュレーションには、当社独自の「In the Room™」テクノロジーが採用されています。これにより、従来のIRで再現されるようなスタジオ寄りの音色とは異なり、演奏中にアンプのすぐ横に立っているかのような臨場感を実現します。この機能は、ヘッドホンでのリスニングやレコーディングの際に特に効果を発揮します。

Beam Miniは、NAM A2モデルをネイティブで動作させる初のアンプであり、前世代モデルに比べてリアリズムにおいて飛躍的な進化を遂げています。モデルを設計通りの姿、完全かつ無修正、妥協のない形で忠実に再現し、真のNAM体験をお届けします。モデルの読み込みも簡単に設計され、Beamアプリでモデルを探し、読み込んで、演奏するだけです。パソコンも、変換作業も、余計な手順も一切必要ありません。

さらに、Moises AIによるSTEM分離機能(2026年8月提供予定)を搭載しており、どのトラックからでも楽器の音だけを抽出したり除去したりできるため、お気に入りの音楽に合わせて練習や演奏がより簡単になります。

Beamアプリ内のオンラインコミュニティを通じて、カスタムパッチを作成し、他のBeamユーザーと共有できます。プロによるシグネチャーサウンドが詰まった限定アーティストパッチにアクセスしたり、厳選されたバックトラックやビデオレッスンに合わせてジャムセッションを行い、あなたの可能性を解き放ちましょう。

ヘッドセットマイクをTRRS 3.5mm端子に接続すれば、ボーカルとギターを同時に録音でき、外部機器を一切必要としないため、ライブ配信に最適です。

## 同梱内容

- ・ Beam Mini
- ・ USB-C - USB-Cケーブル(USB-Aアダプター付属)
- ・ クイックスタートガイド
- ・ 製品登録用VIPアクセスカード
- ・ キャリーストラップ

## Factory Reset

アンプはいつでも工場出荷時のパッチと設定に戻すことができます。電源を入れる際に、フロントパネルの「PATCH」ボタンと「VOLUME」ボタンを長押しするだけです。

Light Beamの表示が0までカウントダウンし、その後最大値まで満たされるまで、PATCHボタンとVOLUMEボタンを押し続けてください。Light Beamが上記のプロセスを完了する前にPATCHボタンまたはVOLUMEボタンのいずれかを離すと、操作はキャンセルされ、アンプの設定は変更されません。

**重要:**この操作を行うと、ユーザーが保存したパッチや設定はすべて上書きされます。

## ファームウェアのアップデート

ファームウェアの更新は通常、互換性のあるiOSおよびAndroid端末で利用可能な「Blackstar Beam」モバイルアプリから行います。アンプのファームウェア更新が利用可能になると、Beamアプリの新しいバージョンがリリースされます。また、USB接続と専用のBlackstar更新ソフトウェアを使用してファームウェアの更新を行うことも可能です。

アンプが、より新しいファームウェアが搭載されたBeamアプリに接続されると、最新バージョンへの更新を促すメッセージが表示されます。更新中は、フロントパネルの照明付きレベルが点滅し、ライトバーおよびBeamアプリ内に進行状況が表示されます。

**重要:**ファームウェアの更新を行う前に、ヘッドフォンを外してください。アップデート中は、アンプの電源を切ったり、Beamアプリを閉じたり、モバイル端末の電源を切ったりしないでください。そうするとアップデートが失敗し、予期せぬ結果につながる可能性があります。動作が不安定になったり、操作に反応しなくなったりする場合があります。このような場合は、アンプの電源を切り、再度電源を入れてからファームウェアの更新手順をやり直してください。Beam Miniの電源を入れる際に、フロントパネルのGAINボタンとFXコントロールボタンを

## Bluetooth接続

Beam Miniでは、2種類のBluetooth®接続方式を採用しています。Beam MiniとBeamアプリ間のデータ通信にはBluetooth® Low Energy (BLE)が使用されます。Beam Miniへのオーディオストリーミングには、標準のBluetooth®が使用されます。

**Beamアプリに接続するには:**Beam Miniの電源を入れ、アプリを開き、画面の指示に従ってください。スマートフォンが自動的に「BEAM MINI BLE」とのペアリングを要求した場合は、許可する必要があります。Beamアプリに接続するために、Beam MiniのBluetooth®ボタンを押す必要はありません。

**オーディオストリーミング用に接続するには:**Beam MiniはBluetooth®ペアリングモードで電源が入り、上面パネルの青いLEDがゆっくり点滅してその状態を示します。Beam Miniは、スマートフォン、タブレット、またはコンピューターのBluetooth®設定から検出・ペアリングが可能です。

モバイルデバイスへの初回接続時のみ、ペアリング手順を行う必要があります。

現在ペアリングされているBluetoothオーディオ機器(青色LEDが点灯している状態)との接続を解除するには、アンプ上部のBluetoothオーディオボタンを、LED表示が消えるまで5秒間長押ししてください。

## Bluetoothのトラブルシューティング

Beam アプリへの Bluetooth 接続や、モバイルデバイスからのオーディオストリーミングに問題がある場合は、そのデバイスを「削除」して、再度ペアリングを行う必要があります。

まず、Beam Miniの電源を切り、Beamアプリを終了してください。次に、お使いのモバイル端末の Bluetooth設定を開き、Bluetoothデバイス一覧の中から「Beam Mini Audio」または「Beam Mini BLE」という名前の項目を探してください。各Beam Miniの項目について、モバイル端末のメーカーが指定する手順に従って「このデバイスを削除」を行ってください。その後、前述の手順に従って、接続とペアリングのプロセスを再度実行してください。

## 操作と機能

### 1. ギター入力

ここに楽器を接続してください。必ず良質のシールド付き楽器用ケーブルを使用してください。

### 2. SpeedDial

回してサウンドのさまざまなパラメーターを調整します。コントロールボタン(5~9)を使用して、SpeedDialで調整するパラメーターを選択してください。

### 3. 発光ディスプレイ

SpeedDial(2)によって現在どのパラメータが調整されているかを示します。

### 4. Light Beam

SpeedDialで調整中のコントロールに対する視覚的なフィードバックを提供する独自の表示機能(2)。Light Beamは状況に応じて動作し、表示中のパラメータを明確に表示します。バッテリーの消費を抑えるため、10秒間操作がないとLight Beamの明るさが低下し、さらに10秒間操作がないと消灯します。コントロールボタンをいずれか一つ押すか、SpeedDialを回すだけで、Light Beamを再点灯させることができます。

### コントロールボタン (5-9)

Beam Miniに保存されている5つのパッチから1つを選択してください。パッチボタンを1秒間長押しすると、現在のパッチに変更内容が保存されます。Beamアプリからアクセスできます。

### 5. パッチ

BEAM SOLOに保存されている5つのパッチから1つを選択します。パッチボタンを1秒間長押しすると、現在のパッチに変更が保存されます。BEAMアプリから、保存された無数のパッチにアクセスできます。

## 6. ゲイン

トーンのプリアンプゲイン量を調整します。エレキギター用アンプの場合、ゲインコントロールはオーバードライブやディストーションの量を調整します。設定を低く(反時計回り)にすると、ブレイクアップ寸前のクリーンなサウンドが得られます。ゲインコントロールを時計回りに回すと、サウンドはよりオーバードライブがかかったものになります。ベースやアコースティック用アンプの場合、ゲインコントロールはプリアンプのコンプレッションの量に影響します。

この設定は、パッチを保存する際に保存されます。

## 7. EQ

このコントロールの効果は、現在選択されているアンプに適用されます。EQコントロールは、従来のトーンコントロールと同様の働きをします。設定を低く(反時計回り)にすると音色は暗く温かみのあるものになり、時計回りに回すにつれて明るくシャープな音色になります。

## 8. FX / タップテンポ

独自のXpressFX機能を使えば、アクティブなすべてのポストエフェクトの強度を瞬時に調整できます。XpressFXは、複数のエフェクトパラメーターを同時に調整するスマートなトラッキングコントロールであり、頭の中で思い描いたサウンドを素早く直感的に実現する方法を提供します。

また、FXボタンはタップテンポコントロールとしても機能します。モジュレーションやディレイなどのタイムベースエフェクトのSYNCパラメータがONに設定されている場合、FXボタンを繰り返し押すことで、それらのエフェクトのテンポを設定できます。

この設定は、パッチを保存する際に保存されます。

## 9. 音量

全体の出力音量を調整します。これはマスター音量コントロールとして機能し、楽器とBluetoothオーディオの音量を同時に調整します。Beamアプリ内の各アンプの個別音量コントロールとは独立していません。

音量ボタンを1秒間長押しすると、内蔵チューナーが作動します。Light Beam(4)は、現在演奏されている音程の正確さを表示します。中央の位置(EQの下)は、最も近い音程に合っていることを示し、中央より左は半音低い音、中央より右は半音高い音であることを示します。

Beamアプリは、チューナーモード時に機能満載のチューナー画面を表示します。デフォルトでは、チューナーモード中はギターの手がミュートされますが、この設定はBeamアプリで変更可能です。いずれかのコントロールボタンを押すと、チューナーモードを終了します。

この設定は、パッチを保存しても保存されません。

## 接続

### 10. USB-C接続

Beam MiniのUSB-Cポートには複数の機能があります。付属のUSB-Cケーブルを、USB ACアダプター（別売）やUSB充電機能付きの他のUSBデバイスなど、標準的な5V USB充電源に接続して、内蔵バッテリーを充電してください。充電中でも本製品は安全にご利用いただけます。

#### オーディオインターフェース

USB-C接続により、Beam Miniは録音用のプロ品質のオーディオインターフェースとしても機能します。付属のUSB-Cケーブルをパソコン、タブレット、またはモバイルデバイスに接続するだけです。

**重要なお知らせ:** Lightning接続のiOSデバイスを使用して録音を行う場合は、USB経由のオーディオ転送に対応したMade for iPhone (MFi) 認定のLightning-USBアダプター（別売）が必要となります。詳細については、<https://blackstaramps.com/get-connected-iphone-14-and-earlier-models/> をご覧ください。

Beam MiniのUSB接続は複数のオーディオ入出力に対応しており、録音ワークフローに合わせて、スタジオ品質のさまざまなオーディオストリームをキャプチャできます。Beam Miniは44.1kHzおよび48kHzのオーディオサンプリングレートに対応しています。

#### 外部デバイスへのUSB出力:

- 1: ギター出力L - エフェクトが完全に適用された左チャンネル
- 2: ギター出力R - エフェクトが完全に適用された右チャンネル
- 3: ギターDI - 外部プラグインで使用可能な、クリーンで未処理のギター信号
- 4: ヘッドセットマイクDI - クリーンで未処理のヘッドセットマイク信号

#### 外部デバイスからのUSB入力:

- 1: オーディオ出力L - ヘッドフォン(左)
- 2: オーディオ出力R - ヘッドフォン(右)

**重要なお知らせ:** Beam MiniをWindows PC用のUSBオーディオインターフェースとして使用する場合は、最高のパフォーマンスを得るためにBlackstar USBオーディオドライバが必要で、<https://portal.blackstaramps.com>にアクセスしてBeam Miniを登録すると、Windows用の専用USBオーディオドライバやその他の便利なダウンロードコンテンツをご利用いただけます。

### 11. 3.5mm ヘッドフォン出力 / ライン出力

ここにヘッドホン接続してください。この接続はスタジオ用途に適した高品質な信号であるため、Beam Miniを外部スピーカーやミキサーに接続することも可能です。

Beam Miniには独自の「ヘッドフォン・ダンピング」コントロールが搭載されています。ヘッドフォンは機種ごとに特性が異なり、同じモデルのヘッドフォンであっても音質が異なる場合があります。Beamアプリ内の「ヘッドフォン・ダンピング」コントロールを使用して、不要な高調波の量を調整してください。

ヘッドホンで再生される周波数帯域を広げることで、アンプのようなリアルな音と感触を実現します。

## ヘッドセット

また、ここにTRRSヘッドセット(インラインマイク付きヘッドホン)を接続することで、ボーカルとギターを同時に録音することができ、ライブストリーミングや、インスピレーションが湧いたその場で音楽のアイデアを記録するのに最適です。ライブストリーミングの場合、BeamアプリでUSBループバックモードを有効にすることで、

USB入力の再生音とギター入力の信号をミックスし、そのミックス音をUSBオーディオ出力へ送信します。ヘッドセットマイク入力、Beamアプリを使用して音量やリバーブレベルを自由に調整可能です。

## 12. Bluetoothオーディオボタン

このボタンは、外部のBluetoothオーディオデバイスとペアリングおよび接続し、Beam Miniにオーディオをストリーミングするために使用します。

**重要なお知らせ:**このボタンを押す前に、上記の「Bluetooth接続」のセクションを確認し、いつこの操作が必要になるかをご確認ください。Beamアプリへの接続には、このボタンを押す必要はありません。

## 13. 電源スイッチとLED表示

電源ボタンを1秒間長押しすると、Beam Miniの電源がオンまたはオフになります。Beam Miniには、デフォルトで有効になっている省電力モードが搭載されています。このモードでは、20分間操作がないとアンプの電源が自動的に切れるため、バッテリーの寿命を延ばすことができます。省電力モードによるシャットダウン後にBeam Miniを再起動するには、電源ボタンをもう一度押ししてください。省電力モードは、Beamアプリからオフにすることができます。

## バッテリー

Beam Miniは、高品質なリチウムイオンバッテリーを搭載しています。バッテリーの性能と寿命は、使用方法や充電方法によって左右されます。安定した動作を確保し、バッテリーの寿命を最大限に延ばすため、以下のガイドラインに従ってください:

- 可能な限り、急速充電器の使用は避けてください。急速充電はバッテリーに過度な負担をかけ、全体的な寿命を縮める原因となります。
- バッテリー残量がすでに100%の状態では、定期的に充電を行わないでください。また、バッテリーを完全に放電させないようにしてください。バッテリーの状態を最適に保つため、充電レベルを約30%から80%の間で維持するようにしてください。
- Beam Miniを長期間使用しない場合は、バッテリーを約50%充電した状態で、涼しく乾燥した暗所にて保管してください。
- 高温または換気の悪い場所、特に駐車中の車内や窓際の直射日光が当たる場所など、気温が45°C / 113°Fを超える場所では、本機の使用や充電を行わないでください。
- 10°C / 50°F 以下の低温環境でのバッテリーの充電は避け、0°C / 32°F 以下の温度ではアンプを動作させないでください。
- 本機を強い衝撃から保護してください。本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりすると、内蔵バッテリーが損傷するおそれがあります。

内蔵のリチウムイオンバッテリーは、使用状況にもよりますが、フル充電で約18時間持続します。バッテリーは、空の状態から満充電まで約2時間で充電できます。

現在のバッテリー残量はBeamアプリに表示されます。バッテリー残量が0%になると、Beam Miniの電源が切れる前に、イルミネーションディスプレイ(3)とライトビーム(4)が6回素早く点滅し、アンプの充電が必要であることを知らせます。Beamアプリが接続されている場合は、アプリ上にも「バッテリー残量低下」の警告が表示されます。

## LED表示

Beam Miniの現在の状態や動作状況を一目で確認できるようにします：

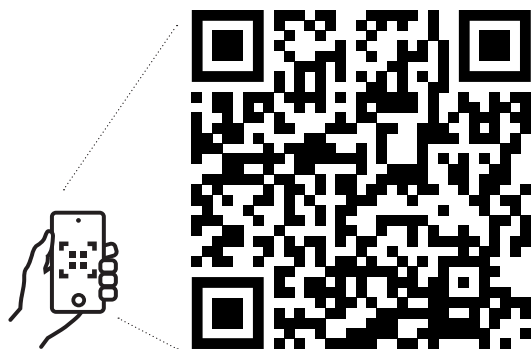
LEDの色	LEDの状態	機能
白*	オン	本体の電源が入りました
赤	点灯	バッテリー充電中
青**	オン	Bluetoothオーディオ接続中
青**と白*が交互に点滅	高速点滅	Bluetoothペアリング／再接続モード
青**と白*が交互に点滅	ゆっくり点滅	Bluetooth検索モード

\*バッテリー充電中は、白色LEDがピンク色に点灯します

\*\*バッテリー充電中は、青色LEDが紫色に点灯します

## BEAMモバイルアプリ

いただけます。Beamアプリをダウンロードすれば、サウンドの詳細なコントロール、エフェクトペダル、アンプ、キャビネット、マイクなどの豊富なラインナップに加え、レコーディングツールなど、多彩な機能にアクセスできます。活気あふれるオンラインコミュニティに参加して、丹精込めて作成したパッチを共有したり、プロによる限定アーティストパッチを利用したりしましょう。Beamアプリ内で、ビデオレッスンでテクニックを磨き、刺激的なバックイングトラックやドラムループに合わせてジャムセッションを楽しむこともできます。



<https://www.blackstaramps.com/download-beam-app/>

## 技術仕様

### BEAM MINI

**重量(g):** 750

**重量(g)** 152 x 89 x 79

**重量(g)** 60mmカスタムフルレンジドライバー×2、55mm補助バスラジエーター×2

**重量(g)** :2チャンネル クラスD、1チャンネルあたり12ワット

**重量(g)** IP66

### お手入れ

Beam Miniを清潔に保つため、湿らせた布に水または温かい水のみをご使用ください。

**Blackstar Amplification Ltd**, Beckett House, 14 Billing Road, Northampton, NN1 5AW, UK

For the latest information go to: [www.blackstaramps.com](http://www.blackstaramps.com)

Whilst the information contained herein is correct at the time of publication, due to our policy of constant improvement and development, Blackstar Amplification Ltd reserves the right to alter specifications without prior notice.